



地名をとおして 北海道を見つめ直す

Place Names in Hokkaido and Place Names Derived from the Ainu Language

北海道博物館 第5回特別展

アイヌ語地名と 北海道

2019年 7月6日(土)～9月23日(月)祝

|前期| 7月6日(土)～8月25日(日)

|後期| 8月27日(火)～9月23日(月・祝)

*前期と後期で展示資料の一部を入れ替えます。

休館日=毎週月曜日(ただし7月15日、8月12日、9月16日、9月23日は開館)

7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)

観覧時間=9:30～17:00(入場は16:30まで)



北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

主催：北海道博物館

共催：一般財団法人北海道歴史文化財団 協力：NPO法人北海道遺産協議会

後援：北海道アイヌ協会、朝日新聞北海道支社、北海道新聞社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、

NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、

UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道、STVラジオ、AIR-Gエフエム北海道、FMノースウェーブ

図版：上から／伊能図下図(ソウヤ付近) [国宝] 千葉県香取市 伊能忠敬記念館所蔵 北海道実測切図(宗谷) 当館所蔵 国土地理院地図



●展示構成

プロローグ：北海道のすがたをさかのぼる

第1章：〈地名〉をしるす

江戸期の古地図や古文書に記録されたアイヌ語地名を紹介します。

第2章：〈地名〉をあぐる

アイヌ語地名研究者・山田秀三の地名調査記録を紹介します。

第3章：〈地名〉をみつめる

全国の地名と見くらべつつ、北海道の地名の特徴をさがります。

第4章：〈地名〉をたのしむ

じっくり見て、聞いて、楽しくさわって動かせる体験コーナー。

国宝6点、国指定重要文化財33点をふくむ約100点を展示します。
作品保護のため前期・後期で展示資料の入れ替えを行います。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

同時開催
第2会場

総合展示「クローズアップ展示」に
「アイヌ語地名」関連コーナーを特設します。

「古地図・絵図からさぐるアイヌ語地名」6月8日(土)～10月11日(金)

「松浦武四郎の地図からさぐるアイヌ語地名」6月8日(土)～10月11日(金)

「アイヌ語地名研究者・山田秀三の葉書から」8月17日(土)～12月18日(水)

「アイヌ語地名研究者・山田秀三の、

アイヌ文化の記録や保存への関わり」8月17日(土)～12月18日(水)

「北海道の地名にちなむ植物」8月17日(土)～12月18日(水)

*総合展示には観覧料が別途かかりますが、あわせてご覧になる場合は、セット観覧券をお買い求めください。

▽関連行事

◎講演会

(連続講座「アイヌ語地名と北海道」)

会場／当館講堂(定員：80名)

「アイヌ語地名」とはなにか

講師／児島恭子氏(札幌学院大学)

日時／7月6日(土) 13:30～15:30

今井八九郎 一人と業績一

講師／佐々木利和(当館非常勤研究職員)

日時／7月7日(日) 13:30～15:30

菅真澄がみた北海道・東北の地名

講師／石井正己氏(東京学芸大学)

日時／7月13日(土) 13:30～15:30

蝦夷通詞とアイヌ語地名

講師／谷本晃久氏(北海道大学)

日時／7月20日(土) 13:30～15:30

伊能忠敬と間宮林蔵の蝦夷地測量

講師／高木崇世氏(北海道史研究協議会会員)

日時／8月4日(日) 13:30～15:30

アイヌ語研究からみた「アイヌ語地名」^①

講師／佐藤知己氏(北海道大学)

日時／8月25日(日) 13:30～15:30

アイヌ語研究からみた「アイヌ語地名」^②

講師／切替英雄氏(元北海道大学)

日時／9月1日(日) 13:30～15:30

アイヌ語研究からみた「アイヌ語地名」^③

講師／中川裕氏(千葉大学)

日時／9月8日(日) 13:30～15:30

古地図と歩く

講師／和田哲氏

(あるた出版編集部・「O.tone」編集デスク)

日時／9月15日(日) 13:30～15:30

◎特別フォーラム

会場／当館講堂(定員：80名)

ふるさとの〈地名〉をみつめて

講師／関根健司氏(平取町立二風谷アイヌ文化博物館)

郷土近好古氏(アイヌ料理の店「喫茶ポロン」店主)

日時／7月17日(水) 13:30～15:30

交通案内

●バス：

JR新札幌駅・地下鉄新さっぽろ駅から…

・バスターミナルのりば⑩(北レーン) ジェイ・アール北海道バス 新22「開拓の村」行きに乗車し、「北海道博物館」で下車、徒歩1分。

・バスターミナルのりば⑩⑫(北レーン) ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス 大森・野幌・江別方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車、徒歩15分。

JR森林公園駅から… 駅東口バスのりば 上記「開拓の村」行きバスが森林公園駅に寄ります。徒歩の場合は20～25分。

江別・野幌・大森方面から… ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス 新札幌方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車、徒歩15分。

●タクシー：JR新札幌駅・地下鉄新さっぽろ駅から約10分

●自家用車：駐車場(北海道博物館駐車場、百年記念塔前駐車場)は無料です。ただし、数に限りがありますので、混雑時にはお待ちいただく場合もあります。

北海道の地名は、その多くがアイヌ語に由来します。このことは、アイヌ民族が北海道に先住してきたことの何よりの証です。

明治以降に本州からの移住者が北海道へたくさん渡ってきて、そのことを示す地名が北海道の各地で見られること、また、アイヌ語由来の地名に漢字を当てはめた地名が作られたことなどは、北海道の歴史の特徴をあらわすものです。

江戸時代の古地図や古文書などにするされた地名、アイヌ語に由来する地名研究の第一人者である山田秀三の調査記録、近現代をへて現在に至る北海道の地名の特色などを紹介しながら、〈地名〉をととして北海道を見つめ直す機会とします。

北海道 アイヌ語地名と

地名をととして北海道を見つめ直す
Place Names in Hokkaido and Place Names Derived from the Ainu Language



1. 伊能忠敬の測量地図【国宝】 *前期・後期で同種資料を入れ替え 千葉県香取市 伊能忠敬記念館所蔵
2. 日本沿海輿地図(蝦夷地)〈伊能図・小図〉【国指定重要文化財】 *前期のみ展示 東京国立博物館所蔵 (Image: TNM Image Archives)
3. 今井八九郎作のシコタン島図(製図)【国指定重要文化財】 *前期のみ展示 東京国立博物館所蔵 (Image: TNM Image Archives)
4. 山田秀三が使用した登別地図(登別付近) 当館所蔵

特別展観覧料／一般1,000円(850円) 高校・大学生350円(250円)
特別展示・総合展示観覧セット券／一般1,300円(1,200円) 高校・大学生450円(400円)
()内は次の料金です。 ●10名以上の団体 ●本展割引券をお持ちの方
●リピーター割引料金(本展の金額が記載されている有料観覧半券をご提示の場合、1枚につきおひとり様1回限り有効。有効期限は本展開催終了まで) *中学生以下、65歳以上の方、障がいのある方は無料。
また高校生に限り毎週土曜日は無料。(年齢の分かるもの、障害者手帳などを入場券売場でご提示ください)

北海道博物館
森のちやれんが HOKKAIDO MUSEUM
〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 お問い合わせ:011-898-0466
ウェブサイト <http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>
Twitter @Hokkaido_Museum